

イギリスの認知症ケア動向 I

イギリスの高齢者の生活状況

<目次>

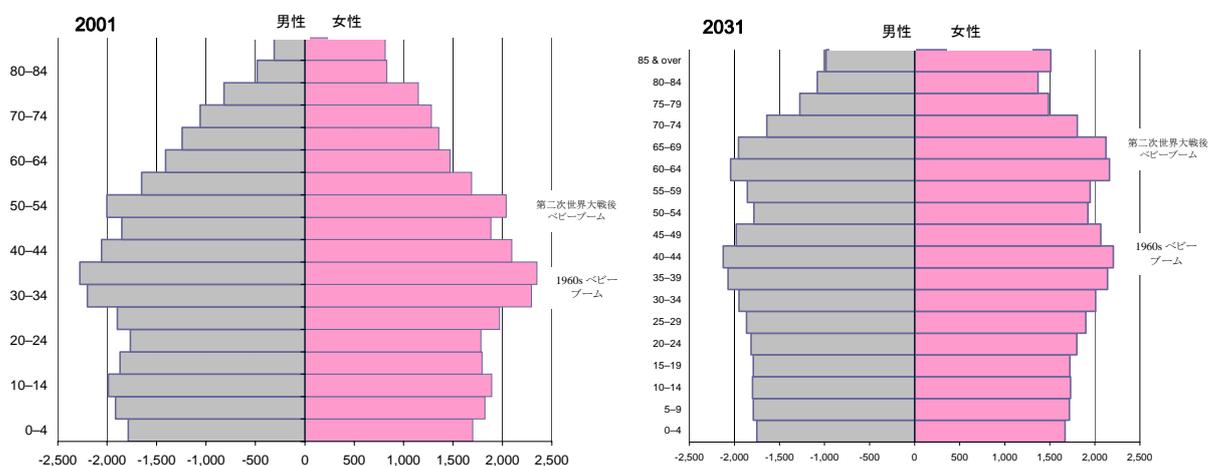
1.	高齢化率の状況.....	1
2.	平均寿命.....	2
3.	移民並びに人種構成.....	3
4.	生活形態.....	3
5.	持ち家の状況.....	4
6.	就業状況と家族介護の状況.....	4
7.	収入状況.....	5
8.	収入源.....	6
9.	貯蓄額.....	6

I イギリスの高齢者の生活状況

1. 高齢化率の状況

イギリスの人口は2006年時点で6,060万人。2004年の65歳以上の高齢者人口の割合は15.6%となっている。イタリアやドイツ等に比べれば低水準であるものの、1960年の11.7%と比較すると、4%程度高齢者割合が高くなっている。また、今後の推計によると2031年には22%に達するとの予測もある¹。

イギリスの年齢別人口構成



出典: Census, Office for National Statistics; Government Actuary's Department

欧米主要国の高齢化率（65歳以上並びに85歳以上）

	%			
	65歳以上		85歳以上	
	1960	2004	1960	2004
イタリア	9.3	19.2	0.5	2.0
ドイツ	11.5	18.0	0.4	1.7
スウェーデン	11.7	17.2	0.6	2.4
ポルトガル	7.8	16.7	0.4	1.4
フランス	11.6	16.4	0.6	1.8
フィンランド	7.2	15.6	0.3	1.6
イギリス	11.7	15.6	0.7	1.9
ハンガリー	8.9	15.5	0.3	1.0
ポーランド	5.8	13.0	0.3	0.8
アイルランド	11.1	11.1	0.6	1.1

出典: Council of Europe; EUROSTAT, New Cronos Database

¹ National Population Projections 2006-based, Office for National Statistics, 2008

2. 平均寿命

平均寿命は女性が 81.2 歳、男性が 76.7 歳²となっており、先進国の中では比較的
平均寿命が短くなっている。これは、後述する移民等の影響（平均寿命を下げてい
る）が大きいと考えられる。

平均寿命とその世界ランキング

	平均寿命(2005年)					
	男女計		男		女	
	歳	順位	歳	順位	歳	順位
日本	82.3	1	78.7	3	85.7	1
香港	81.9	2	79.1	2	84.9	2
アイスランド	81.5	3	79.9	1	83.1	8
スイス	81.3	4	78.5	4	83.7	4
オーストラリア	80.9	5	78.5	4	83.3	6
スウェーデン	80.5	6	78.3	6	82.7	9
スペイン	80.5	6	77.2	12	83.8	3
カナダ	80.3	8	77.9	8	82.6	10
イタリア	80.3	8	77.2	12	83.2	7
イスラエル	80.3	8	78.1	7	82.3	11
フランス	80.2	11	76.6	19	83.7	4
ノルウェー	79.8	12	77.3	11	82.2	12
ニュージーランド	79.8	12	77.7	9	81.8	15
オーストリア	79.4	14	76.5	21	82.2	12
シンガポール	79.4	14	77.5	10	81.4	20
オランダ	79.2	16	76.9	14	81.4	20
ドイツ	79.1	17	76.2	22	81.8	15
マルタ	79.1	17	76.8	15	81.1	25
イギリス	79.0	19	76.7	17	81.2	24
キプロス	79.0	19	76.6	19	81.5	18
フィンランド	78.9	21	75.6	28	82.0	14
ギリシア	78.9	21	76.7	17	80.9	28
ベルギー	78.8	23	75.8	25	81.8	15
コスタリカ	78.5	24	76.2	22	80.9	28
アイルランド	78.4	25	76.0	24	80.9	28

注)順位は1777か国中。男女計の高い順に25か国を掲載。

(出典)UNDP,人間開発報告書2007/2008

² United Kingdom 2005-07, Office for National Statistics, 2008

3. 移民並びに人種構成

世代別に人種構成をみると、16歳以下の白人の割合は87.9%、50歳以上では96.5%、85歳以上では98.9%と、高齢になるにしたがって白人の割合が増えている。イギリスへの移民は白人以外の人種が徐々に増えており、この傾向は若い世代ほど強く現れている。

年代別人種構成(2001)

イギリス	%		
	16歳以下	50歳以上	85歳以上
白人	87.9	96.5	98.9
混血	2.9	0.3	0.2
カリビアン系黒人	1.0	0.7	0.2
アフリカ系黒人	1.3	0.2	0.1
その他黒人	0.3	0.0	0.0
インド人	2.1	1.1	0.3
パキスタン人	2.3	0.5	0.1
バングラデシュ人	0.9	0.1	0.0
その他アジア人	0.5	0.2	0.1
中国人その他	0.8	0.4	0.1
合計	100.0	100.0	100.0

出典: Census 2001, Office for National Statistics; Census 2001, General Register Office for Scotland

4. 生活形態

65歳以上高齢者の生活形態は、夫婦2人暮らしが最も多いが、1人暮らしの世帯も350万人存在する。特に75歳以上の女性では、6割が1人暮らしとなっている。

高齢者の年代・性別生活形態(2002)

イギリス	男性				女性				%
	50-59	60-74	75歳以上	合計	50-59	60-74	75歳以上	合計	
独居	15	16	29	18	15	29	60	32	
配偶者あり	73	76	64	73	71	62	31	58	
同棲	5	3	1	3	4	1	1	2	
配偶者なし・子どもあり with children	4	2	2	3	6	4	5	5	
その他同居中	3	3	3	3	3	3	3	3	
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	

出典: General Household Survey, Office for National Statistics

5. 持ち家の状況

50歳以上の持ち家の状況をみると、住宅ローン無しが52%、住宅ローン有りが23%で、全体の約75%が自宅を所有している。但し、年齢が高くなるにつれて自宅で生活する者の割合が減少しており、85歳以上の高齢者では、約3割の人が社会的な施設に入居している。また、8%の人が民間の賃貸住宅居住者となっている。

年代別持ち家率の割合(2003~2004年度)

イギリス		%			
		50-64	65-84	85歳以上	50歳以上
持ち家					
権利所有		39	66	61	52
権利所有但し住宅ローンあり		40	7	2	23
社会的施設		15	24	29	20
個人賃貸		6	4	8	5
全体		100	100	100	100

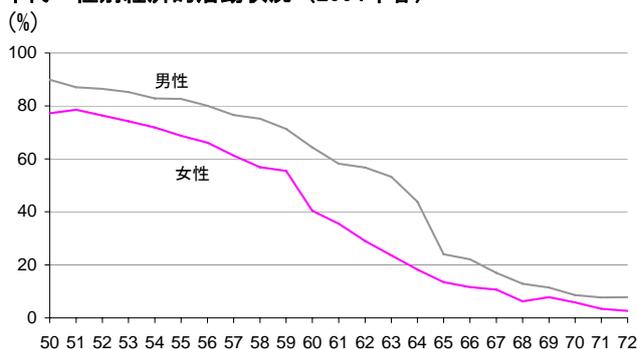
1 住み込みで働いていたり、無償で住まいを提供されているケースを含む

出典: General Household Survey, Office for National Statistics

6. 就業状況と家族介護の状況

高齢者の就業率は徐々に高まっているが、男性の65歳から69歳の就業率は約2割弱にとどまり、女性は1割程度となっている。一方、60~64歳女性の約4人に1人、男性の2割弱が家族の介護を担う立場となっている。

年代・性別経済的活動状況(2004年春)



出典: Labour Force Survey, Office for National Statistics

年代・性別の家族介護者の状況(2001年4月)
イングランド及びウェールズ (%)

	Number providing care (thousands)		1週間に50時間以上、家族介護をしている人の割合 (%)	
	Men	Women	男性	女性
50-54	311	446	14	16
55-59	268	365	16	19
60-64	203	262	21	25
65-74	291	334	31	33
75-84	144	137	44	43
85歳以上	23	19	54	47
全体	1,239	1,563	24	25

出典: Census 2001, Office for National Statistics

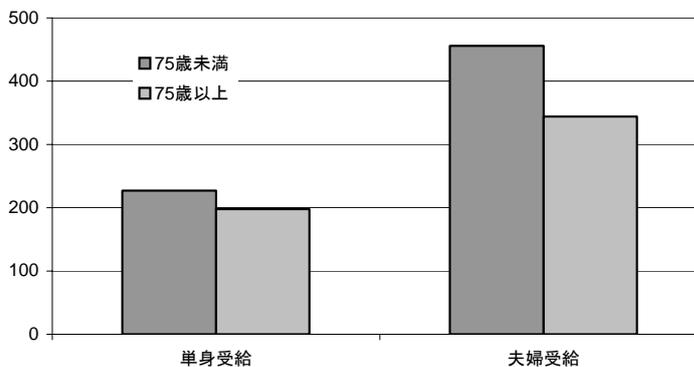
7. 収入状況

75歳以上の単身年金受給者の平均所得は週当たり198ポンド³（26,136円）、75歳未満では227ポンド（29,964円）となっている。また、75歳以上の夫婦年金受給者の平均所得は週当たり344ポンド（45,408円）、75歳未満では455ポンド（60,060円）となっている。なお、75歳以上単身生活者の主要収入源は基礎年金となっており、それ以外の収入を合わせた週当たりの平均収入は144ポンド（19,008円）となっている⁴。

世帯平均収入を50～59歳の現役時代と比較すると、70歳代では代替率で70%近くを確保できていることが分かる。

年金受給者の平均収入状況(2003/04)

週当たりのポンド額

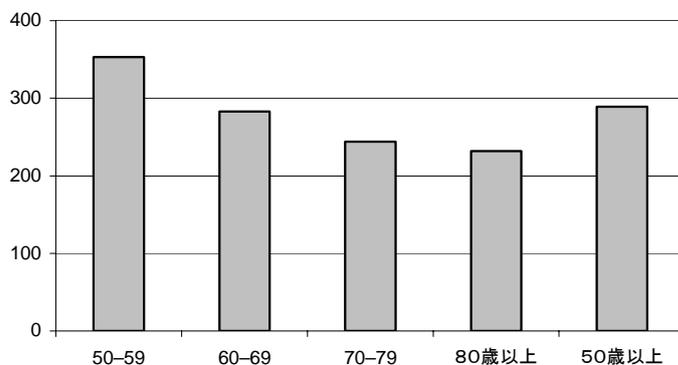


注) 夫婦は男性の年齢で区分

出典: Family Resources Survey, Department for Work and Pensions

年齢別世帯平均収入, 2003/04

週当たりのポンド額



住居費差し引き後の世帯平均収入

週当たりポンド額

50-59	60-69	70-79	80歳以上	50歳以上
353	283	244	232	289

出典: Family Resources Survey, Department for Work and Pensions

³ 1ポンド=132円(2008年12月末の為替レート)で計算。次頁以降、同様に計算。

⁴ Family Spending 2008, Table A40, Office for National Statistics, 2008

8. 収入源

70代の世帯における主な所得内訳は、公的年金が4割、私的民間の年金が3割、その他社会保障が1割程度となっている。

世帯年長者の週当たりの収入の年代別比較（2003/4）

	賃金収入	自営業収入	投資	レ国家 ジ家 ット年金 年金 ク	私的年金	その他社会 保障等	標 本 数
50-59	69	12	3	1	7	8	5,118
60-69	32	8	5	19	25	11	4,287
70-79	7	3	6	40	33	12	3,712
80歳以上	4	1	6	44	26	20	1,957

出典：Family Resources Survey, Department for Work and Pensions

年金受給者の世帯形態・年齢別受給水準

	£1人当たり	
	年金受給世帯〔夫婦〕	単身年金受給者
1994/95	24	39
2003/04	41	55

出典：Family Resources Survey, Department of Work and Pensions

9. 貯蓄額

現役引退直後の60～64歳では、2002年データで平均純資産（金融＋不動産等）が26,000ポンド（343万円）となっている。しかし、実際には、50歳以上の上位75%における非年金額平均は249.8千ポンド（約3,300万円）ながら、下位25%は40.4千ポンド（約533万円）と資産格差が大きい。

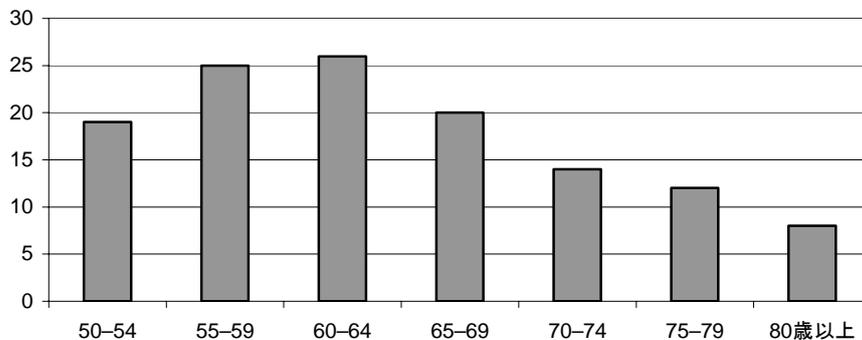
2008年度の満額基礎年金は単身で週当たり90.70ポンド（15,419円）、夫婦で145.05ポンド（24,659円）となっている⁵。

⁵ Department for Work and Pensions website, 2008

ネット金融資産の年代別平均額（2002）

イングランド

1000ポンド

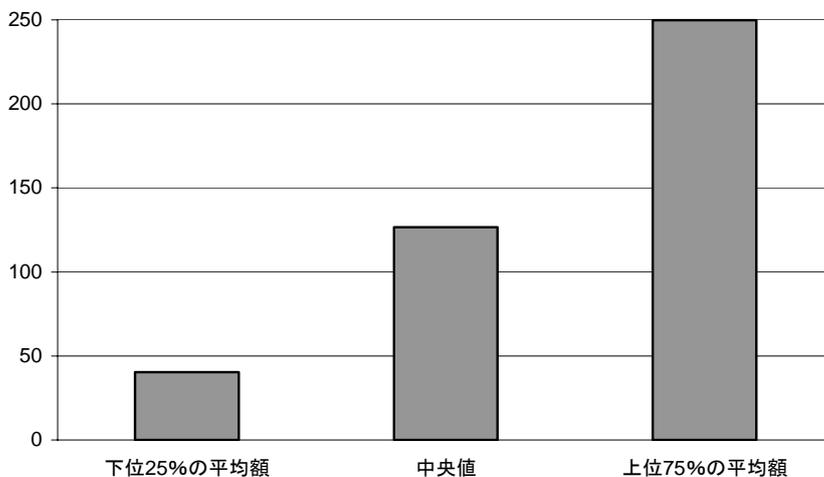


出典: English Longitudinal Study of Ageing, University College London

50歳以上の非年金資産（2002）

イングランド

千ポンド



非年金資産は金融資産、固定資産等の合計から債務を差し引いたもの
出典: English Longitudinal Study of Ageing, University College London

<参考文献>

National Statistics Focus on Older People

世界の厚生労働 2009

社会保障年鑑 2009

保険と年金の動向 2008

<調査協力>

株式会社ニッセイ基礎研究所